MEIJO Q&A

経営学部 経営学科

Q データ分析と人間の心理、この2つに何の関係があるの？

人の行動を予測するのにはデータと心理、両方を分析することが重要です。

ビッグデータを分析すれば、消費者の行動が予測できる？！

Amazonに代表されるような通販サイトで、どんな人たちがどのように買い物をしているのか、スマートフォンのゲームや動画配信サービスなどをどんな人たちが利用しているのか、またそれらの人々がどれくらいの期間でゲームやサービスをやめてしまうのかといったさまざまなデータを統計学やAIを用いて分析。それにより、企業が知りたいと思っていてもなかなか知ることができないであろう「自社の顧客がどれくらいライバル企業を利用しているか」や、「自社のスマホゲームをすぐにやめてしまうユーザーは誰なのか」などの情報を発見するための研究をしています。

人間の行動を分析するには、想像力がとても重要。

現在インターネット上では、消費者の行動データを元に、その人に最適化された広告が表示されるなど、データから何でも得られるような風潮があります。しかし、データ上は同じ商品を購入している顧客でも、好きで購入しているのか、仕方なく購入しているのかまではわかりません。そういった、データでは見えない消費者の内面的な違いを統計学によって明らかにすることがこの研究の目的。データ分析が注目されがちな研究ですが、消費者の日常生活をイメージしたり、なぜその行動をとったのかを考えるなど、人間の心理や考え方を加味して考察するといった人間くさい部分もとても重要なのです。そして、そこにこそ研究のおもしろさがあると感じています。

新美 潤一郎 先生
Niimi Junichiro

大学3回生のときに身体を壊してしまい、就職活動ができなくなったことで大学院に進学。そこで学んだマーケティングと統計学、プログラミングが想像以上に楽しくて、「好きなことを極めてみたい」と考え、研究職の道に進みました。

私の気分転換

音楽制作&DJプレイで心が安らぐ。

学生時代から続けている音楽制作やDJプレイが一番の気分転換。日本語ラップやヒップホップといった音楽が好きですね。音楽を作っているときは仕事や研究のプレッシャーなども忘れることができ、心が安らぎます。